

～立秋と処暑～ 今年の台風傾向

8月の二十四節気は、8月上旬をさす立秋（りっしゅう）と下旬をさす処暑（しょしょ）です。「暑い夏も終わり」と言いたいのですが、もう少し辛抱が必要な時期です。

ところで、この時期になると気になるのは台風の動向です。今年の台風21号は日本列島に大きな被害を与えました。

台風には、太平洋高気圧の縁を沿うようにして移動する性質がありますので、太平洋高気圧の勢力（張り出し）が強いときは、九州の西側から日本海方面へ、弱いときは日本の南海上を迷走しながら日本列島に接近または上陸する可能性があります。

今年はエルニーニョ現象の影響で台風の発生はやや少なくなるかも知れませんが、8月下旬から9月にかけて日本への台風の接近の割合が高まると思われます。

近年の日本の台風の勢力や進路の予測技術はとてつ向上しています。身近な天気予報から積極的に情報を収集して、事前準備をすることが大切です。

また台風の盛衰と進路は、主に次の3つに影響されます。

<海面水温が27℃以上> <太平洋高気圧の縁を時計回りに進む> <偏西風に流される>

天気予報を見るとき、海面水温・太平洋高気圧・偏西風、この3つにも注意してみてください。

（次回号は～白露～）

